

## 令和5年度学校教育自己診断結果について

### 「授業全般について」

- ・授業に関する項目の生徒の肯定回答は、概ね良好である。
- ・保護者の「子どもは授業が分かりやすく楽しいと言っている」の肯定的回答72.3%。昨年より11.3ポイント上がっている。
- ・次年度から、65分授業となるが、引き続きよりよい授業を実施すべく相互授業見学や教科、全体で話し合う機会を持っていきたい。

### 「授業等で出だされる課題の量について」

- ・自由記述で、生徒・保護者とも「量が多い」との意見がある。このことについては、昨年度から教員間でも問題意識にあがっており、教員研修でもとりあげたテーマである。
- ・今年度初めて設問に加えた「課題の量は適切である」の生徒の肯定的回答は、71.2%である。肯定的回答の全設問の平均が、84%であることから考えるとさらに、教科、学年全体を見渡して考えていく必要がある。次年度に向けて、検討を継続していく。

### 「自学自習について」

- ・教職員の「学校は自学自習の推進に取り組んでいる」の肯定的回答が90.3%で10ポイント増。生徒の「自宅等で、学習する習慣がついている」77%で、8.6ポイント増である。到達度の低い生徒への指導とともに引き続き取り組みを継続していきたい。
- ・自習室の利用は48%で多いとはいえないが、必要な生徒のために出来る範囲で自習室を開室していく方針である。

### 「教育相談体制について」

- ・「担任以外にも気軽に相談する先生がいる」生徒の肯定的回答が70.3%で15ポイント上昇。
- ・保護者の自由記述で、「豊中高校は他のGLHSの高校に比べて、転学していく生徒が多い」というものがあつた。教育庁に確認したところ、「コロナ禍に入って以降、府立学校全体で、不登校や転学者が増加傾向にあるが、他のGLHSの学校と比べても豊中高校が多いということはない。」とのことであつた。不登校や転学者については、どの学校も喫緊の課題として取り組んでいるが、本校でも教育相談体制を充実させ、SCの回数を増やすなど対策をとってきているところである。今後も丁寧で適切な対応を継続していきたい。

「校則等について」

- ・寒い時期の授業中での防寒着の着用について、多数意見があり、ルールを変更した。実態に合ったルールとなるよう、今後も気をつけていきたい。
- ・盗難については、保護者全体への連絡がないというご意見をいただいている。その都度、生徒全体には注意喚起を行い、被害にあった生徒の保護者には、連絡をさせていただいており、全体に連絡するかどうかは、状況によって判断している。なお、防犯意識の醸成や物の管理については、重点目標の一つとして今後も取り組んでいきたい。